

## 資料7

### 新庁舎建設との連携について

第3回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所:秋田市正庁

平成23年8月2日(火)

## 1 新庁舎建設事業の進捗状況とスマートシティとの連携

### 新庁舎建設事業の進捗状況

- 7月8日 秋田拠点センターアルヴェ 2階 多目的ホールにて 基本設計業務委託について提案事業者(7社)による公開ヒアリングを実施。
- 同日 審査委員会において株式会社日本設計を最優秀提案に選定、同時に優先交渉権者とする。

### スマートシティとの連携

- 昨年度 スマートシティ基本計画において新庁舎建設との連携案を検討。
- 6月24日～7月8日 推進協議会委員に新庁舎建設との連携に関する意見募集。
- 7月中旬～下旬 基本計画と委員意見をふまえ、あきたスマートシティ・プロジェクトとしての連携案を策定。基本設計に反映させるべく調整中。

## 2 委員意見とその対応方針

項目	委員意見(類似意見は集約)	対応方針
建物構造・設計に関連する事項	再生可能エネルギーの積極的導入と、エネルギー源の多様化。 【例】風力発電、地中熱、太陽熱発電、コジェネレーション、電気自動車を蓄電池として活用、振動発電	再生可能エネルギーの積極導入とエネルギー源の多様化は基本設計に反映させるよう働きかける。
	省エネルギー(高断熱、高効率)の積極導入も必要。	基本設計に反映させるよう働きかける。
	防災・災害対応の観点から、電力平準化、省エネ運用、蓄電池等(夜間電力活用、ピークシフト等)といった個別ソリューションを検討。	基本設計への反映、および情報統合管理基盤の将来像としての検討を行う。
	屋上緑化の実現。	屋上は他用途(太陽光パネル等の設置)で使用する可能性があるが、緑化は積極的に導入するよう働きかける。
情報基盤・運用に関する事項	電気、水道、ガス、情報網を統合化した全体システムを構築と、クラウド化を進める必要がある。	情報統合管理基盤の将来像として検討する。
	再生可能エネルギー導入やその見える化等充実のため、より具体的な市民生活へ向けてのアプローチや情報提供が必要。	庁舎内の見える化だけでなく、市民に向けた情報提供システムの構築を、情報統合管理基盤と連携して検討する。
新庁舎の設計以外にもスマートシティ・プロジェクト全体に対し重要な意見	非常時での独立型自主電源設置を数か所に確保すべき。	秋田市内各地に設置することも検討すべき項目。
	低炭素モビリティ事業を検討する際には、冬季を考慮した計画とする必要がある。	モビリティ事業においては冬季の交通についても考慮する。
	グリーンツーリズム推進に関しては、例年東北6県の広告宣伝をJR東日本や航空各社が関東圏等で大規模に展開しているため、連携が有効。	グリーンツーリズム事業において検討する。